

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第1部（3年制）	夜・通信	1, 410時間	80×3＝240時間	
	本科（鍼灸あん摩マッサージ指圧科）第2部（3年制）	①夜・通信	1, 410時間	45×3＝135時間	
	専科（鍼灸科）第1部（3年制）	夜・通信	1, 230時間	80×3＝240時間	
	専科（鍼灸科）第2部（3年制）	①夜・通信	1, 230時間	45×3＝135時間	
（備考）実技・実習はすべて実務経験（臨床）のある教員があたる					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人花田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて理事名簿を公開

<https://www.hanada.ac.jp/data/statement.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	整形外科クリニック院長	2017. 10. 31 ～ 2020. 10. 30	組織運営体制への チェック機能
非常勤	元厚生労働省局長	2017. 10. 31 ～ 2020. 10. 30	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 シラバスの作成過程については年度ごとに教務より担当教員に対して科目の目的や目標、成績評価等の内容を予め提示し、担当教員はそれに授業方法や授業内容等を検討し、原案の作成を行う。原案を基に教務にて検討し担当教員との合議により作成している。そのカリキュラムに基づき、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項をシラバスとして作成している。</p> <p>【時期について】 シラバスの作成については新学期が始まる3~4ヶ月前より取組み、新年度に入り、冊子を用いて、授業開始前にオリエンテーションを行い、周知徹底している。4月上旬以降、事務室に閲覧用シラバスを備え置き、受付にて閲覧希望の旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>冊子として学生に配布。その他、事務室に備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則施行細則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各科目で定める授業科目の試験(レポートを含む)により成績評価を行っている。</p> <p>(参考) 学則施行細則 第10条 成績の評価は定期試験(筆記、実技)を基準として行う。実技科目では出席状況も加味して評価する。 2. 各科目の成績は次の基準で評価する。100点~90点 A、89点~80点 B、79点~70点 C、69点~60点 D、60点未満 E 不合格。 3. 各科目とも成績評価がD(60点以上)で、かつ、該当科目の講義回数の3分の2以上出席した者に単位を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学内の成績評価は、定期試験毎の全履修科目の素点の平均点で評価する。当校では、学内推薦卒の候補者選定や、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験など）によって評価される。当校では各授業の評価100点満点を基準として60点以上を合格としている。評価点数により100点～90点 A、89点～80点 B、79点～70点 C、69点～60点 D、60点未満 E不合格としている。</p> <p>成績評価方法については入学時、入学生にオリエンテーション資料として「学則施行細則」を配布し通知している。また、指標の算出方法や成績評価方法は事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、社会に信頼され貢献できる良き医療人の育成を目標として、カリキュラムの設定や教育がなされている。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細については学則施行細則に記載している。また、卒業認定に関する方針は事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本鍼灸理療専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	直近3年分の情報をホームページで公表している https://www.hanada.ac.jp/data/statement.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マツサージ指圧科）第1部 （3年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2, 835 単位時間/単位	1,995 単位時間 /単位	単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		176人	0人	22人	46人	68人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日をもって、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。必要な学生には、教務部長・教務主任による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
64人 （100%）	0人 （0%）	50人 （78.1%）	14人 （21.9%）
（主な就職、業界等） 鍼灸院、鍼灸マッサージ院等の施術所、トレーナー・スポーツ関連施設等			

(就職指導内容) 教員による個別相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
187人	6人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、業務多忙、婚姻、出産等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	本科（鍼灸あん摩マッ サージ指圧科）第2部 （3年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2, 835 単位時間/単位	1,995 単位時間 /単位	単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		129人	0人	22人	46人	68人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
学修支援等
（概要） 曜日をもって、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。必要な学生には、教務部長・教務主任による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	2人 (3.6%)	43人 (76.8%)	11人 (19.6%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院、鍼灸マッサージ院等の施術所、トレーナー・スポーツ関連施設等			
（就職指導内容） 教員による個別相談等			

(主な学修成果(資格・検定等)) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140人	1人	0.7%
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専科（鍼灸科）第1部 （3年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,655 単位時間/単位	1,935 単位時間 /単位	単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	85人	0人	22人	46人	68人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日をもって、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。必要な学生には、教務部長・教務主任による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 （100%）	0人 （0%）	18人 （85.7%）	3人 （14.3%）
（主な就職、業界等） 鍼灸院、鍼灸マッサージ院等の施術所、トレーナー・スポーツ関連施設等			
（就職指導内容） 教員による個別相談等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) はり師、きゅう師の国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	4人	5.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、業務多忙等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	専科（鍼灸科）第2部 （3年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,655 単位時間/単位	1,935 単位時間 /単位	単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		52人	0人	22人	46人	68人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 曜日を定めて、毎週任意の補習を行っている。全体を対象とした補習以外に、学力が下位の者を対象とした少数制の補習を実施している。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。必要な学生には、教務部長・教務主任による面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 （100%）	0人 （0%）	10人 （71.4%）	4人 （28.6%）
（主な就職、業界等） 鍼灸院、鍼灸マッサージ院等の施術所、トレーナー・スポーツ関連施設等			
（就職指導内容） 教員による個別相談等			

(主な学修成果(資格・検定等)) はり師、きゅう師の国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	1人	2.0%
(中途退学の主な理由) 業務内容変更に伴い、鍼灸の資格が不要となったため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
本科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)第1部	700,000円	1,100,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度130,000円/年 それ以外160,000円/年
本科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)第2部	700,000円	1,100,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度130,000円/年 それ以外160,000円/年
専科(鍼灸科)第1部	600,000円	900,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度130,000円/年 それ以外160,000円/年
専科(鍼灸科)第2部	400,000円	900,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度130,000円/年 それ以外160,000円/年
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。 (令和2年8月ホームページ掲載予定)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校が実施した自己評価結果に対し、外部の学校関係者の意見や助言を取り入れ、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めることとする。 評価項目は①教育理念・目標②学校運営③教育活動④学修成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生募集⑧財務⑨法令遵守⑩社会地域貢献の10項目とする。学校関係者評価委員は、①業界団体、臨床実習施設関係者②卒業生③有識者から選任し、原則年1回評価委員会を開催し、評価結果を理事会に報告後、公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
某大学附属鍼灸センター長	令和2年2月20日～ 令和4年3月31日	業界団体、臨床実習施設関係者
卒業生	令和2年2月20日～ 令和4年3月31日	卒業生
某大学医療系学部、学部長	令和2年2月20日～ 令和4年3月31日	有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。 (令和2年8月ホームページ掲載予定)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.hanada.ac.jp/acupuncture/index.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。